

「春のうた」定期テスト対策練習問題

年	組	番	名前
---	---	---	----

問1 「ほっまぶしいな。 ほっうれしいな。」とありますが、この「ほっ」にはどんな気持ちがこめられていますか。つぎの中からえらび○でかこみましょう。

ア：土の外の世界に、おどろいている気持ち

イ：土の外の世界に出られて、はずんでいる気持ち

ウ：土の外の世界に、不安がある気持ち

エ：土の外に出られて、安心している気持ち

問2 「ほっまぶしいな。 ほっうれしいな。」とありますが、これは誰の（何の）気持ちをあらわしていますか。

問3 「ほっまぶしいな。」とありますが、なぜ「まぶしい」のか答えましょう。



問4 この詩の季節はいつですか。

問5 「かぜは そよそよ」とありますが、かぜはどのようにふいていますか。つぎの中からえらび○でかこみましょう。

ア：冷たいかぜが強くふいている。

イ：じっとりしたかぜが弱くふいている。

ウ：やわらかいかぜが やさしくふいている。

エ：甘いにおいのかぜが ときどきふいている。

問6 「ケルルン クック」とは、なんですか。つぎの中からえらび○でかこみましょう。

ア：春のかぜがふく音

イ：みずの流れる音

ウ：かぜがふく音

エ：かえるのなき声



問7 「ああいにおいだ。」とありますが、なんのにおい
ですか。つぎの中からえらび○でかこみましょう。

- ア：土の中のおい
- イ：冬の空のおい
- ウ：春の外の世界のおい
- エ：夏の虫のおい

問8 この詩の中で、かえるが見たものを2つ、それぞれ6文字で
書きましょう。

問9 「ケルルクック」は、どのように読むのがよいですか。
つぎの中からえらび○でかこみましょう。

- ア：しずかに、ゆっくり読む
- イ：おこるように、力強く読む
- ウ：うれしそうに、はずむように読む
- エ：かなしそうに、ちいさい声で読む

問10 この詩の中で、咲いていたものはなんですか。



問 1 1 この詩の作者はだれですか。漢字で書きましょう。

問 1 2 この詩には全部でいくつの「連」がありますか。

問 1 3 この詩の題名の「春のうた」の中にことばをくわえて、あたらしく題名をつけるとしたら、つぎの中のどれが一番ふさわしいですか。○でかこみましょう。

ア：春のかぜのうた

イ：春のかえるのうた

ウ：春の花のうた

エ：春のくものうた



「春のうた」定期テスト対策練習問題（解答）

問1 **イ**

【解説】ながい冬眠からさめて、土の外の世界に出ることができてワクワクしている気持ちがこめられている。

問2 **かえる**

問3 **（例）土の中から出てきたから・冬眠からさめて外の世界に出てきたから**

【解説】「土の中から出た」や「外の世界に出た」という内容がかかれていて、「…から」や「…なので」という理由をあらわすことばが使われているかがポイント。

問4 **春**

【解説】かえるが冬眠からさめたときの詩なので、季節は春。

問5 **ウ**

【解説】「そよそよ」とは、風がしずかにここちよくふく時につかわれる言葉。



問6 エ

問7 ウ

【解説】この詩は春のことをえがいていることと、かえるが冬眠からさめて外の世界にわくわくしているようすから考えよう。

問8 いぬのふぐり
おおきなくも
※どちらが先でも良い。

問9 ウ

【解説】冬眠からさめて、外の世界にわくわくしているかえるのようすから考えると、うれしそうに、はずむように読むのがふさわしい。

問10 いぬのふぐり

問11 草野心平



問 | 2 4

【解説】「連」とは、詩の中のおおきなかたまりのこと。この詩は4つのおおきなかたまりからできているので、4連になる。

問 | 3 イ

【解説】この詩の主人公はかえるで、かえるが冬眠からさめて外の世界にわくわくしているようすを描いた詩なので、イが1番ふさわしい。

